

令和7年度 第4回全体庁議（8月1日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(6) 帯広市児童会館・帯広市百年記念館のあり方の検討について [生涯学習部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

帯広市児童会館と帯広百年記念館に関する今後のあり方について、今年度の進め方などを整理したことから、令和7年8月26日の経済文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 経過・背景

帯広市児童会館は開館後61年、帯広百年記念館は開館後43年経過し、これまで様々な改修を進めてきているものの老朽化が進行している。こうした中、本年3月に策定した緑ヶ丘公園エリアビジョンでは、両施設の時代に対応した施設機能のあり方などについて議論を重ね、将来的に施設を建替える場合の候補地として、帯広少年院跡地の利活用について検討を進めることとしている。

2 施設の現状

(1) 施設の概要

設置目的、主な機能、供用開始、面積、構造、使用者数など

(2) 主な改修等の経過

近年の2館の改修状況

3 今年度の進め方

両施設のあり方については、時代に対応できる機能など様々な視点から検討し、市民及び議会議論を重ねていくプロセスが必要で一定の年数を要する。

今後、国から市の少年院跡地の利活用に向けた地域整備計画に係る意見照会が想定されており、両施設の建替えを検討する場合の候補地の選定について、今年度、現施設の規模や機能をベースに条件を仮置きし先行して検討を進める。

両施設は緑ヶ丘公園に立地し、市民に広く認知されていることや市中心部からも比較的近く利便性が高いこと、他の生涯学習施設とともに、文化・交流拠点としての相乗効果などが見込まれるため、緑ヶ丘公園エリアビジョンにおける検討の方向性を踏まえ、緑ヶ丘公園エリア内を想定して検討を進める。

4 建替える場合の候補地の選定に向けた検討項目

(1) 考えられる候補地

現地や少年院跡地のほか、緑ヶ丘公園内で一定の面積を確保できる場所を検討する。

(2) 比較検討項目

施設機能の確保、他の施設等への影響、工事の影響などを検討する。

■ 今後のスケジュール

- ・ 令和7年11月 経済文教委員会へ建替える場合の候補地の検討状況を報告
- ・ 令和8年2月 経済文教委員会へ建替える場合の候補地を報告

■ 審議結果

- ・ 同内容で、8月26日経済文教委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし